

寄稿

重症小児救急医療の現状とファミリーハウス運動への期待

手稲溪仁会病院 院長 成田吉明

手稲溪仁会病院は、2005年4月から道央ドクターヘリの基地病院として道央圏を中心に救急医療を担い、2017年7月からは小型ジェット機を活用した医療優先固定翼機「メディカルウイングTM」の運航管理病院として、全道に活動範囲を拡大してきました。

2018年4月には、3名の小児集中治療専門医を中心とした「重症小児搬送チームPEAK(Pediatric Emergency team Affiliated with Keijinkai)」を結成し、この2年半で39例の搬送を経験しましたので、本稿ではこのチームの活動を紹介させていただきます。

39例の内訳は、新生児7例、0歳児16例、1-6歳児12例、6-12歳児3例、13歳児以上1例で、搬送元は札幌市内が17例、千歳6例、帯広5例、江別・苫小牧・浦河各2例、砂川・岩見沢・小樽・室蘭・函館各1例と広域にわたっていました。病態別では呼吸19例、中枢神経8例、循環2例、外傷2例、その他8例で、搬送元での処置は薬物投与16例、気管内挿管済み11例、気管内挿管7例、中心静脈カテーテル挿入1例、ECMO(簡易型体外循環装置)装着1例でした。搬送先は当院ICU23例、小児科一般病棟9例、NICU4例、救命病棟1例、他院2例で、転帰は自宅退院19例、搬送元へ転院11例、搬送元以外へ転院5例、その他4例でした。

病気のお子さまのそばにいてあげたい、家族にそばにいてほしいという当然の願いも、自宅が遠方であればあるほど実現が難しく、さらに重症であるだけに在院期間も長期化する傾向があることから、当院の近くにご家族の通院の拠点があることが望まれます。「こどもっくる」の近くにあるマクドナルドハウスを以前から羨ましく思っていたのですが、今般ファミリーハウス運動をご紹介いただき、この運動の拡がり次第では当院の近くに施設ができることも夢ではないと感じています。さまざまなレベルで連携を深めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



手稲溪仁会病院 院長 成田吉明

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 ■札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 ■https://www.keijinkai.com/teine/

新型コロナウイルス感染症にご注意ください!

◆一人ひとりができる感染症対策は?

- 人と人との距離を十分にとる! (Social distancing: 社会的距離)
- 外出時はマスクを着用する! 家の中でも咳エチケットを心がけ!
- 手指消毒用アルコールによる消毒の励行!
- 家やオフィスの換気を十分に!
- ▽▽無症状者からの感染の可能性も

指摘されており油断は禁物!

◆詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください◆

今年も! 北大病院クリスマス会で木製オーナメントをプレゼント

2020年12月、毎年開かれる北大病院クリスマス会で今年も入院治療を受ける子どもたちに天然木を使い手作りのオーナメントとお菓子をプレゼントしました。

2020年度 助成金・ご寄付・ご協力 (敬称略)

- 北海道医師会
- 北海道電力関連産業労働組合総連合
- 株式会社オール
- 北苑マンション管理組合
- シルバー人材センター
- 札幌中央支部
- (株)ゼタセグメント

ご支援のご協力に感謝申し上げます

ちよい寝ホテル札幌手稲

手稲溪仁会病院の近くには、「ちよい寝ホテル札幌手稲」があります

宿泊も朝寝も昼寝もご満足いただける新しいスタイルのカプセル型のホテルです。ご利用にあたっては左記まで直接お問い合わせください。

お気軽にご利用ください

札幌市手稲区富丘3条7丁目 (011) 6881-8707

広い駐車場も完備!